

南九州地方連合会長 徳渕敬尚牧師からいただいた情報（4月16日現在）を元に追加記入した資料です。

熊本地震・被災の状況(2016年4月20日現在)

教会	被害状況
大牟田	牧師館でちょっとしたもの落ちなど有り。会堂の被害は特になし。
有明	もの落ちなど有り。会堂の天井に亀裂が入った。
フレッドシップ	特に被害はない。
熊本愛泉	礼拝堂母子室のガラスが二枚割れた。牧師が教会員の家飲み水を届けている。 【愛泉祈祷院】たくさんの方が避難している。
山鹿（伝）	揺れが強かった。被害は特になし。
熊本南	瓦が落ち、外壁も崩れ、食器棚も倒れた。礼拝堂の内壁が崩れ落ちた。人的被害はなし。
八代（伝）	無牧師のため現在確認中。
東熊本	講壇後ろの壁が崩れ落ちている。水が不足している。 保田井牧師ご夫妻が車内避難をされている。 日曜日、6名が集まり、祈り、会堂の片づけをした。メンバーの中には、福岡に避難した方や避難所に行かれている方もいる。
豊岡（伝）	牧師館の棚などが倒れた。一階に降りて休んだりしている。
天草中央	揺れたが被害は特になし。
菊池シオン	礼拝堂の棚などが倒れた。牧師館がもので散乱している。 濱川耕一牧師ご家族は現在牧師館で生活しておられる。数名の教会員が断水状態。
羊の群れ（伝）	朴哲浩（パク チョルホ）牧師ご家族は避難所に退避。

※現在のところ、他の南九州地方連合の教会・伝道所の被害報告はありません。

北九州地方連合大分地区の教会の状況

大分	教会員とそこご家族、村田悦牧師ご家族とも無事。 大分道、東九州道の通行止により車での移動が困難になってきている。
別府国際	教会員とそこご家族、斎藤剛毅協力牧師ご家族とも無事。夜間のみ小学校の校庭で車中泊をしている家族や、そのため疲れている家族がいる。 別府市内の揺れが大きかったため、いくつかの教会員宅で、食器棚が倒れたり、照明器具が落ちたりといった被害が発生している。湯布院の教会員宅も、家財道具に被害が出ている。後片付けが深刻な課題。
臼杵	教会員とそこご家族、松永正俊牧師ご家族とも無事。礼拝にいらした方の中に、地震の影響で睡眠が取りにくくなっている方が複数おられる。

日本バプテスト連盟と全国の13地方連合は、毎年度、地方連合連絡協議会で確認している「災害発生時マニュアル」に基づいて行動しています。今回も、南九州地方連合としての動き（熊本地区）、北九州地方連合としての動き（大分地区）からの祈りの要請をいただきながら、発信をいたします。

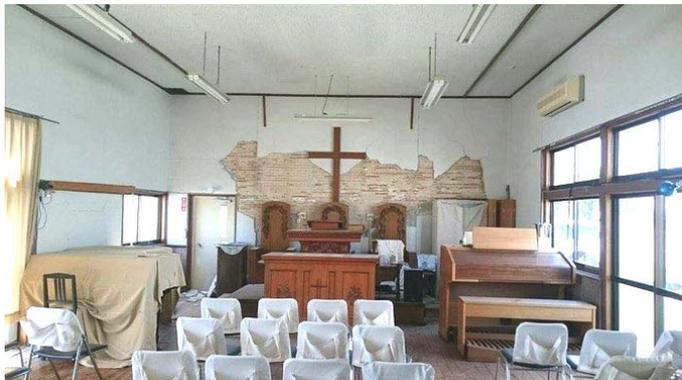
※被災状況が深刻な熊本地区の教会の情報等は、駆けつけておられる近隣教会のSNS（フェイスブック）や、メーリングリストで発信される情報が常に最新のものです。したがって、一番直近の情報については、どうぞそれらをご参照ください。



会堂の被災状況の例

東熊本教会

講壇後ろの壁が崩れ落ちている



熊本南教会

棟瓦がすべて崩落



軒部分のモルタルが下地の木材ごと落下



室内は食器や漆喰(内壁)が散乱



漆喰の崩落や天井材のめくれ



祈りましょう

現在も続いている地震が収まりますように。

救助を待っている人命が助け出されますように。

愛する大切な人を失った方を覚えて。

避難している方々の一時ひとときが支えられますように。